



DO  
MORE.

# CA Productivity Portal

サイバーエージェント生産性向上プラットフォーム提案書



# 1. エグゼクティブサマリー

-  「CA Productivity Portal」の構築を提案
-  目的：社外・社内ツールを網羅し、全従業員の生産性を最大化
-  対象：初期フェーズはエンジニア中心、後半フェーズに全職種へ拡大
-  主要機能
  - **Discovery**（情報発見、比較、推奨）
    -  包括的ツールカタログ
    -  AIパワード検索・推奨システム
  - **Application**（利用申請）
    -  統合申請ポータル
    -  新規ツール提案システム
-  期待効果：生産性50%向上、コスト20%削減、イノベーション加速 

## 2. 背景と課題

### 2.1 急速な技術革新

- AI、クラウド、自動化ツールの進化加速
- 従業員が最新ツールに追いつけていない現状

### 2.2 生産性向上の緊急性

- 市場競争の激化による生産性向上の必要性
- イノベーションスピードの要求増大

### 2.3 ツール導入の非効率性

- 技術選定・検証プロセスに1-2ヶ月以上のリードタイム
- 部署ごとの個別選定による重複作業と非効率
- グループ全体での知見共有不足
- セキュリティ、法務、契約プロセスの煩雑さ

### 2.4 知識共有の不足

- ツール活用ノウハウの共有不足
- 部門間のベストプラクティス共有欠如

### 3. ビジョン

**「最先端ツールで、すべての従業員の潜在能力を解放する」**

- 🔎 最適なツールを瞬時に発見、比較、導入
- 🌟 ツールの効果を最大限に引き出す環境整備
- 🚀 個人の生産性を飛躍的に向上（目標：30%向上） 
- 🚀 会社全体のイノベーションと成長を加速
- 📊 データドリブンな意思決定の促進
- 🌐 AI時代に適応した新しい働き方の確立

# 4. 提案内容：CA Productivity Portal



## 4.1 Discovery機能



- 包括的ツールカタログ
  - 社内外のツールを網羅
  - 詳細な機能比較、ユーザーレビュー、導入事例
- AIパワード検索・推奨システム（来期以降）
  - ユーザーの役割、スキル、プロジェクトに基づいた推奨
- チュートリアルとベストプラクティス
- リアルタイム分析ダッシュボード（来期以降）
- カスタマイズ可能なワークフロー統合

# 4. 提案内容：CA Productivity Portal（続き）

## 4.2 Application機能



- 既存ツールの申請プロセス
  - 統合申請ポータル
  - 適切な申請フォームへの自動リダイレクト
- 新規ツールの申請プロセス
  - オープンな提案システム
  - DP室による初期評価
  - 各分野のエキスパートによる詳細評価（後々実装予定）
  - エキスパートと申請者の協議機会（後々導入予定）

サポートする内容：オールインワンソリューション 

# **CA Productivity Portal**

イメージ

# CA Productivity Portal.

最先端ツールで開発の常識を覆す。

AI時代の波に乗り、比較・即導入で  
生産性を飛躍的に向上させよう。

ツールを探索

## カテゴリー別おすすめツール

ツールを検索...

</> IDE

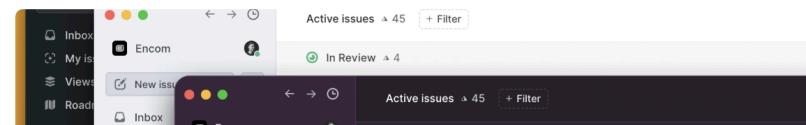
統合開発環境で効率的なコーディング

```
def insert_failed_transactions_from_stripe():
    import sqlite3
    import stripe
    from datetime import datetime, timedelta

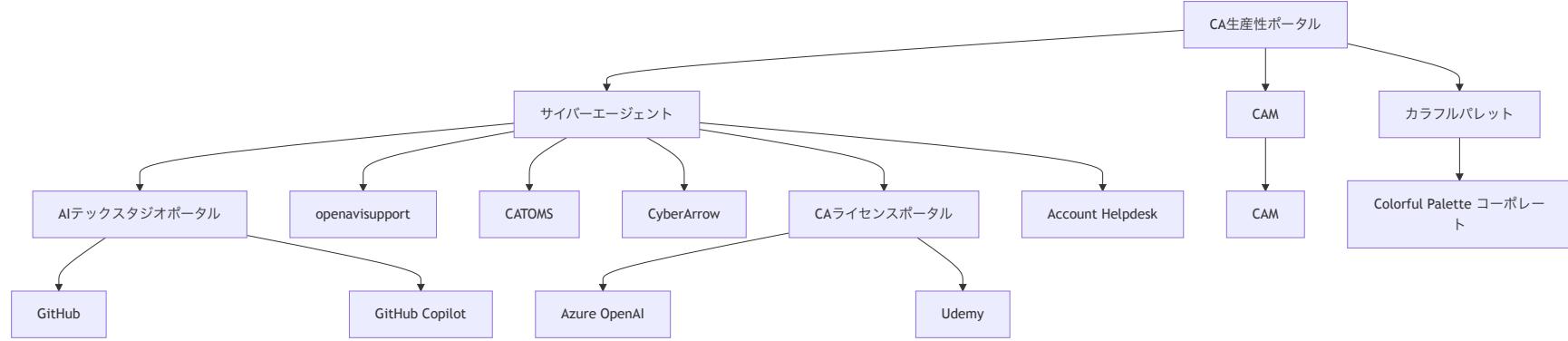
    # Set up Stripe API key
```

プロジェクト管理

プロジェクトの組織化と追跡のためのソリューション



# 既存の各事業部のZendeskシステム構造



## 4.4 段階的展開計画 初期

JUL  
17

### フェーズ1：エンジニアリング部門 (0-3ヶ月)



- 開発、IDE、テスト、デプロイメント関連ツールの統合
- CI/CD、コード品質、プロジェクト管理ツールの最適化
- AIコーディング支援ツールの優先導入
- 対象ツール例：GitHub, GitHub Copilot, Cursor, PipeCD, Bucketeer, Pager Duty

## 4.4 段階的展開計画 後半

JUL  
17

### フェーズ2：クリエイティブ＆マーケティング部門（4-5ヶ月）



- デザイン、コンテンツ制作、マーケティング自動化ツールの追加
- クリエイティブワークフロー最適化機能の実装
- 対象ツール例：Adobe, Figma, Midjourney

### フェーズ3：ビジネス＆管理部門、ゲーム・動画・音声制作部門（6ヶ月）



- 財務、HR、営業支援ツールの統合
- 全社的なデータ分析と意思決定支援機能の強化
- ゲーム開発、動画編集、音声制作関連ツールの統合
- 対象ツール例：Tableau, Unity, Adobe Premiere Pro, CapCut

# 5. 期待される効果 💎

## 1. 生産性の飛躍的向上 ✅

- ツール導入・活用の最適化による作業効率50%向上
- 部門間のベストプラクティス共有による相乗効果

## 2. イノベーションの加速💡

- 最新テクノロジーの迅速な導入による競争優位性の確保
- クロスファンクションナルな協業促進による新アイデアの創出

## 3. コスト削減と資源の最適化 💰

- ツールの重複排除とライセンス管理の一元化（推定20%のコスト削減）

## 4. 従業員満足度の向上 😊

- 最適なツール提供によるストレス軽減と業務満足度向上
- 継続的な学習と成長機会の提供

## 5. リスク管理の強化🛡️

- セキュリティ、コンプライアンスの一元管理による脆弱性の低減
- データガバナンスの強化とプライバシー保護の徹底

# 6. 実装ロードマップ



## 5. 全社展開準備（2ヶ月）



### 1. 企画・設計フェーズ（2ヶ月）



- フィードバックに基づく改善、社内啓蒙活動

### ■ 要件定義、アーキテクチャ設計、UI/UXデザイン

### 6. 段階的全社展開（3ヶ月）



### 2. コア機能開発（3ヶ月）



- 部門ごとの展開、サポート体制の確立

### ■ ツールカタログ、導入フロー基盤の構築

### 7. Zendesk統合（2ヶ月）



### 3. セキュリティ・コンプライアンス対応（1ヶ月）



- 既存Zendeskインスタンスとの連携、自動ルーティングシステムの構築

### ■ セキュリティ監査、法務レビュー

### 4. パイロット運用・フィードバック（1ヶ月）



### 8. Application機能のテストと最適化（1ヶ月）



### ■ エンジニアリング部門での限定運用とフィードバック収集

- テスト、ユーザーフィードバックに基づく改善

## 7. 投資対効果 (ROI)

- 初期投資：約2000万円（開発費、ライセンス費含む）
- 年間運用コスト：約800万円（人件費）

### 期待される年間効果

1. 生産性向上による利益増：20億円  (従業員1人あたり年間100万円の生産性向上と仮定)
2. ツール最適化によるコスト削減：5億円 
3. イノベーション促進による新規事業創出：10億円 

5年間のROI：約1000% 

具体的な計算： $(35\text{億円} \times 5\text{年} - 2000\text{万円} - 800\text{万円} \times 5\text{年}) \div (2000\text{万円} + 800\text{万円} \times 5\text{年}) \times 100 \approx 1000\%$

# 8. リスクと対策 △

## 1. データセキュリティとプライバシー

- 対策：SSGによるセキュリティチェック

## 2. 従業員の抵抗感

- 対策：段階的な導入、成功事例の共有
- 具体例：部門ごとのチャンピオンユーザー育成、定期的なコミュニティ結成やワークショップ開催
- 実際の例：全社Cursorワークショップ開催、Notion AI勉強会開催

## 3. システムの複雑化

- 対策：静的サイトやCMSの活用、継続的な簡素化と最適化

## 4. ユーザー教育の必要性

- 対策：ユーザーTipsの作成、Slackサポートチャンネルの設置

## 9. 結論

-  CA Productivity Portalで働き方を変革
  -  ツールの発見・導入を一元化
  -  従業員の潜在能力を最大化
-  DiscoveryとApplicationの統合で生産性向上
  -  最適なツールの迅速な導入と活用
  -  部門横断の知識共有促進
-  業界リーダーシップの確立
  -  最新テクノロジー導入で競争優位性獲得
  -  データ駆動型経営の実現

-  持続的な競争力強化
  -  組織の適応力向上
  -  AI時代の新しい働き方モデル構築
-  サイバーエージェントの未来への重要な一步
  -  全社DXの加速
  -  イノベーション文化と人材育成の強化

# 10. 将来の展望：公開と内部ポータルの統合

## 10.1 公開ポータル（外部向け）



- 🚀 CAの技術力と革新的な取り組みのアピール
  - 採用中の最新技術やツールの紹介
  - 社内での革新的な活用事例の共有
- 👩‍💻 優秀な人材の獲得
  - 技術ブログや登壇情報の集約
  - オープンソースプロジェクトへの貢献の可視化
- 🏆 業界内のリーダーシップの確立
  - 最新のテクノロジートレンドに関する洞察の提供
  - 業界標準の形成に向けた取り組みの発信

## 10.2 内部ポータル（CA従業員専用）



- 🔒 厳格なアクセス管理
  - 多要素認証を用いた厳格なアクセス管理
  - 役職や部署に応じた詳細な権限設定

# 11. 懸念点と対策 ⚠

## 11.1 他事業部CTOとのコンセンサス形成 🤝

- CTO統括室からの公式提案
- 各事業部CTOの運営メンバー参画

## 11.2 チケットシステムの移行と統合 🎟️

- JIRA「チケット共有」機能の調査
- 大倉氏中心の運用体制確立
- チケットシステム統一ロードマップ作成

## 11.3 ツールリクエスト機能の重要性 🔧

- 優先順位付けシステムの導入
- DP室による評価プロセス確立
- 定期的なリクエスト傾向分析 📈

# 12. プロジェクト成功に向けた次のステップ

1. 🏢 CTO統括室中心の公式プロジェクトチーム発足
2. 👤 各事業部CTOとの個別ヒアリングと要望収集
3. 🤝 キーパーソンとの詳細な議論と承諾取得
4. 🔎 チケットシステム統合に関する詳細調査と方針決定
5. ✒️ プロトタイプ開発とユーザーテストの実施
6. 🎉 全社キックオフミーティングの開催と推進体制の確立

# 13. ネーミングとブランディング



ネーミング : CA Productivity Portal

- 略称 : CAPP A blue rocket ship emoji.

ドメイン : ca-portal.pro A globe icon.

## ブランディング戦略

2. キャッチフレーズ :

- "Empowering Innovation, One Tool at a Time"
- "Your Gateway to Peak Performance"

3. モダンでクリーンなビジュアルアイデンティティ

4. 内部での「CAPP」略称の積極使用

5. 外部への革新性と技術力のアピール

Thank You 🙏

CA Productivity Portal で、サイバーエージェントの未来を創造しましょう！ 🚀